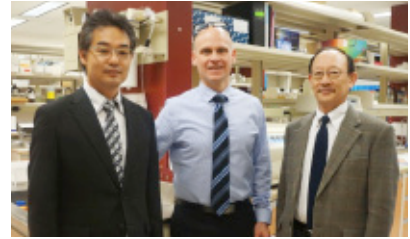


## 学術交流先のアルバータ大学薬学部を 薬学部教員が訪問

11月16日カナダのアルバータ大学薬学部に、薬学部の平藤教授、町田准教授の2人が訪れ、それぞれ本薬学部及び薬学研究科の紹介と多価不飽和脂肪酸の生理作用についてのセミナーを行って来ました。これは、大学間学術交流協定を結んでいるアルバータ大学薬学部からの招待によるもので、留学中の大学院薬学研究科第2学年の遠藤朋子さんの激励のためにもとても良い機会となりました。今後ますます、大学院生や学部生、教員との活発な学術交流が行われることが期待されました。



左から町田准教授、薬理学研究室のJohn Seubert教授、平藤教授

## ドイツ、ユングシュテリング病院と 歯学部が交流協定を締結

12月10日ドイツのジーゲンにあるユングシュテリング病院に、歯学部の安彦教授、永易教授、齊藤教授の3人が訪れ、交流協定のための調印式が行われました。

昨年、同病院口腔外科と本学口腔外科が講座間提携したことについて行われたものであり、今後、歯学部の学生および全講座との交流が行われることが確認されました。



左からBecher院長、Hell教授、永易教授、安彦教授、齊藤教授

## 札幌開成中等教育学校特別講義 「プレ先端科学特論」実施

1月6日と7日の2日間にわたり、札幌開成中等教育学校4年生54名を対象に、特別講義「プレ先端科学特論」を実施しました。

テーマは「自分の遺伝子を解析してみよう」。初日は本学個性健康科学研究所 太田亨教授と岩手医科大学医学部臨床遺伝学科 徳富智明准教授による、遺伝子の基礎についての講義、自分の細胞からDNAを抽出し耳垢型を解析する実験を実施。

2日目は、公立大学法人横浜市立大学大学院 医学研究科遺伝学分野 松本直通教授による特別講演「次世代シーケンスと遺伝性疾患」終了後、2つの班に分かれ、徳富智明准教授による講義「家系図作成プログラムを使って家系図を作成しよう」と、初日の実験結果の確認・玉ねぎのDNAを抽出する実験をそれぞれ交互に行いました。

遺伝子解析実験や最先端の講義など大学ならではの学問・研究の様子を知る機会を持ち、またその内容について理解と興味を深める有意義な時間を過ごしたようでした。



## EDITOR'S NOTE

弥生3月、やわらかな冬の日差しに暖かさが増し新芽が芽吹く季節になりました。

卒業生のみなさん、おめでとうございます。

今年の冬は雪が少ない、暖冬だったとのことですが、十数年ぶりに北海道に戻った身としては、道路の凍結や視界ゼロ状態は、これが北海道の冬!という実感をこえて恐怖でした。恐怖の通勤中、雪の少ない地域では気づけなかった自分の運転の癖が見えてきました。坂道の多い地域にいたのでスピードコントロールは慣れているつもりでしたが、凍結路でいくらゆっくり踏んでもタイヤが止まってしまうと横方向にぶれるということがわからなかったようです。毎日思案し、冬も終わりが見えてきた今日までできてやっとな、路面状況と周りの運転に合わせられるようになりました。

新生活がスタートし、新たな環境での活動が始まるとこれまで見えなかった自分が見えてくることも多いかと思えます。新たな環境で生かせること、習熟が必要であること、積極的に新たな学習を積み重ねていくこと、毎日たくさんのごとに触れるでしょうが、良き先輩方のサポートを受け、同僚とのチームワークを築きつつ進まれますように。今年はオリンピックイヤー!活気あふれる雰囲気の中のスタート健闘を祈ります。(R.T記)

## ADVANCE

北海道医療大学広報誌 No.163

STAFF ● 遠藤 泰 尚也 長澤 敏行 伊藤 修一  
遠藤 紀美恵 志渡 晃一 金澤 潤一郎 武田 涼子  
澤村 大輔 白鳥 亜矢子 千葉 利代 杉谷 晶彦  
宮川 雄一 國見 明美 塚田 将人

発行日 ● 2016年3月

編集・発行 ● 北海道医療大学広報・教育事業部 入試広報課  
〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757  
☎(0133)22-2113  
http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/

広報誌についてのご意見・ご要望・情報等をお待ちしております。  
E-mail:nyushi@hoku-iryo-u.ac.jp



■北海道医療大学の教育理念  
生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を育成することによって地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。